

旧制松江高等学校教師

# カルシユの足跡を追って

若松 秀俊

◇5◇

この住居は長女メヒテルトと一緒  
 ルトにとっては、自分の  
 お城のような場所であっ  
 た。今でも何もかも、懐か  
 しく想い出される。特に  
 遊び場は父フリッツが愛  
 情こめて、愛娘まなむす  
 め(に)用意したものであ  
 る。

「ここに火鉢があった  
 のよ。ここは日本式のお  
 風呂、トイシ。ここは守  
 のきみえさんの部屋。わ  
 たしはここで寝たわ。こ  
 こにピアノがあったの。  
 犬はここにいたの」  
 メヒテルトの記憶と写  
 真をもとにして、何度も  
 図面を書き直した。現在  
 の様子とはかなり異なる  
 ようだ。筆者はアメリカ  
 チャタヌーガでフリッツ  
 の残した写真を調査整理  
 ある。

## 住居と庭

(下)

りも庭の様子も再現でき

た。よく手入れされている

花壇の様子がすばらしい。しかし、現在の周囲

は荒れ放題で、無惨な姿をさらしている。庭を含

めて再現し、ボンのベア

花」これを髪に挿すとき

ここに両親が砂場を作  
 ってくれた。メヒテルト  
 もフリーデルンも砂まみ  
 れが大好きだ。見たこと  
 のないお城をつくる。絵  
 本でみたお城だ。  
 フリッツは、砂場の右  
 隣に、プランコをつくっ  
 た。休みには、フリーデル  
 ンを膝に抱いてプランコ  
 を揺らす。左隣には小さ  
 な池をセメントで造っ  
 た。小さな命の金魚、鮎  
 (ふな)を飼った。  
 「ほら、金魚だ、鮎だ」  
 「これがきんぎよなの？」  
 とフリーデルンが訊(き)  
 く。  
 「かわいいわね」

# 愛情込めて遊び場手作り

時々二匹の蛙が池の縁

で休んでいる。

「ムティ、何しているの

つかのまの静けさだ

が、落ちていた午後のおひ

を破るように、鮎がはね

る。

エンメラが庭仕事をし

を……

エンメラ

は娘の将来

と自分たち

の将来を不

安に思っ

て、言葉を

つまらせ

た。

「白バラも

いいわね」

「黄色も好

きよ」

「これは前

に植えた銀

杏(いちじ

よ)よ。これ

はビワ、イ

チツク。そ

のうち大きくなるわよ」

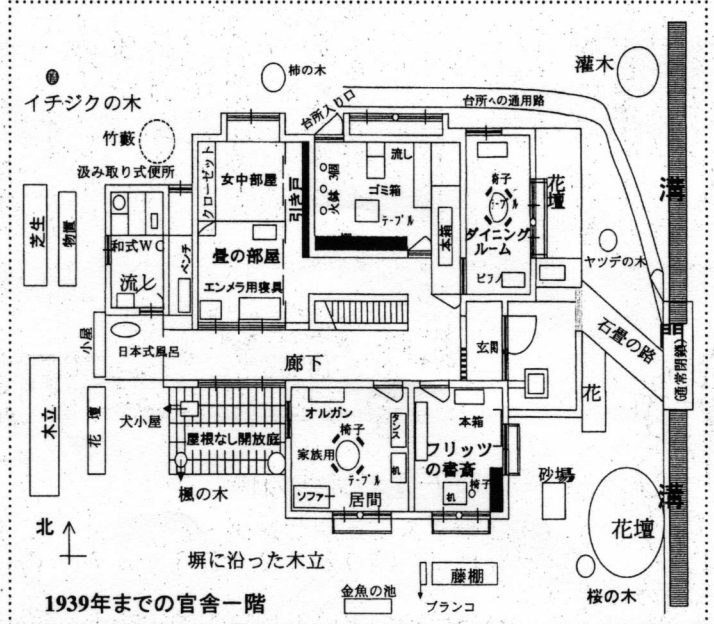
「それにヤシの木とマツ

よ」

「お前たちが大きくなる

頃にはビワもイチジクも

大きくなるわね」



学院教授)

(東京医科歯科大学大